

(別紙)

入 免 A

平成14年度入学料免除承認申請書

担当者名			
連絡先	TEL	()	(内線:)
	FAX	()	

学校コード	(A)	学校名	
	1		

学校区分	免除事由	学 種						免除希望人数			
								計 (人)	私費外国人生 (内数)(人)		
		(B)	(C)	(D)			(1)	(2)			
				5	6	7		11	15		
大学院等	経済的理由かつ 学業優秀	大学院	修士	1	1	0	2	0	1		
			博士	1	1	0	2	0	2		
		大学の 大専攻科	特殊教育	1	1	0	3	0	1		
			その他	1	1	0	3	9	9		
	災害等 特別情	大学院	修士	1	2	0	2	0	1		
			博士	1	2	0	2	0	2		
大学の 大専攻科		特殊教育	1	2	0	3	0	1			
		その他	1	2	0	3	9	9			
部等	災害等 特別情	学部	昼間	2	2	0	1	0	1		
			夜間	2	2	0	1	0	2		
		大学の 大別科	養護教諭	2	2	0	4	0	1		
			その他	2	2	0	4	9	9		
		短期大学	2	2	0	6	0	1			
		高等専門学校	2	2	0	7	0	1			
		盲・聾・ 養護学校	高等部	2	2	0	9	0	1		
			幼稚部	2	2	0	9	0	2		
		理療科 教員養成施設	2	2	0	5	0	1			
		高等学校	2	2	0	8	0	1			
		専修学校 各種学校	看護学校	2	2	1	1	0	1		
			診療放射線部	2	2	1	1	0	2		
			臨床検査技師学校	2	2	1	1	0	3		
歯科衛生士学校	2		2	1	1	0	4				

			歯科技工士学校	2	2	1	1	0	5						
			助産婦学校	2	2	1	1	0	6						
			保健婦学校	2	2	1	1	0	7						

((別紙) 記入要領)

入 免 A

- 1 本票は、本通知の記の1の者について、免除実施可能額を越えて免除する必要のある場合、及び記の2により免除する必要がある場合のみ提出すること。
- 2 「学校コード」欄は、(別添)「学校コード一覧」によるコードを記入すること。
- 3 「大学院等」にあつては、入学料免除取扱要領 の一の本文に係る「経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者」と、ただし書きに係る「災害等特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者」の区分をして記入すること。また、「学部等」欄の学部にあつては、昼間、夜間の区分をして記入すること。
- 4 「免除希望人数」欄には、各区分ごとの承認申請免除希望人数を記入すること。
「私費外国人留学生(内数)」欄は、免除希望人数のうち私費外国人留学生分を内数で記入すること。なお、数字は各欄ともカンマ「,」は記入せず、右詰とする。また、該当のない欄は空白にしておくこと。ただし、フロッピーディスクへ入力する際は、該当する学種の欄中に空白は作らず、0(ゼロ)を入力して必ずその学種の行を数字で連続させること。
- 5 本票には、(別紙・参考)「平成14年度入学料免除希望者の家計状況」、((様式1)票1)「平成14年度入学料免除実施状況」、及び選考基準等学内関係規則を添付すること。(ただし、選考基準等学内関係規則については前年度提出分に変更がなければ、提出を要しない。)
- 6 該当のない学種については、「学種」欄を 線で消すこと。

例

大学院	修士	1	1	0	2	0	1								
-----	----	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

- 7 本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出すること。(A4縦長)